
アダムとイヴの未来

アクア

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アダムとイヴの未来

【Nコード】

N2639BA

【作者名】

アクア

【あらすじ】

『あなたは今から創造主です。』

失楽園しなかった架空世界の未来を描く、SFギャグチックアドベンチャーな物語：になる予定。

地球暦20XX年、創造学校・創世班チームに通う定さだむと住りぶはアダム霊とイヴ霊を受け継ぐ幼なじみの17歳。

二人は新たな世界を創造するという課題に頭を悩ませていた。

失樂園していない世界

『あなたは今から創造主です。どんな世界をも創り出せます。』

そう言われたら、あなたは果たしてどんな世界を創造しますか？

ここは、あの旧約聖書に登場する楽園 エデン。
但し我々の現実世界とは微妙に異なっている。

創造主は自らの姿に似せて最初の【ヒト】であり男性である『アダム』を創り出した。

そして、一人では淋しいだろうということで彼のパートナーである女性『イヴ』を彼アダムの肋骨より誕生させた。

ここまでは皆さんご存知の通り。問題はこの先にある。

ある時イヴが楽園内を鼻歌を歌いながら歩いていると、いつもはあまり通らない場所に出た。

そこは主に決して近付いてはならないと言われている所で、少し高台になっているその中央部には、『生命の樹』がどっしりとそびえ立っていて、それ自身の果実を撓わに実らせていた。

その様子を間近で見ようと、イヴはその樹に引き寄せられるかのように近付いていった。爽やかな風が木々の葉とイヴのしなやかな髪を揺らす。そして風は樹木に付いた実の甘酸っぱい香りを彼女の鼻

腔に運んだ。

イヴはその果実をしげしげと眺めた。

（食べてはダメと父様（主）に言われたけど、見るだけ…いや触るだけならいいわよね）

好奇心に駆られた彼女がその橙色をした果実に触れようと手を伸ばしたまさにその時、

「美味しそうだろ？それは【知恵の実】っていうのさ。」

樹の枝の陰から一匹の蛇が身体をくねらせながらイヴの正面に顔を出した。

「わっ！ビックリしたー…あら？蛇さんじゃない。知恵の実って！？」

突然の蛇の登場に驚愕しつつも、彼女は初めて耳にするその果実がどんなものなのか気になり尋ねた。

「この知恵の実を食べると、すごい知識がついて何でも分かるようになるんだよ。」

蛇はその実について簡潔に説明した後「さあ、試しに一口食べてらんよ。世界が変わるから！」と彼女に促した。

だが

「いや遠慮しとくわ。だってソレ皮剥くの面倒臭そうだし、何だか酸っぱそうなんだもの！じゃあ私忙しいんでそろそろ帰るわね。」
「バイバイ蛇さん」

「ンな、なんですよ！?？」

イヴはあろうことか、蛇の誘惑をバツサリと0.1秒の即答で断ったのだ！

（ちなみにこの世界での知恵の実はリンゴではなくて、何故かミカンだったという。）

こうして蛇＝サタンの魔の誘惑を（結果オーライで）退けたイヴは樂園を追放されることもなく、アダムと仲睦まじく末永く幸せに暮らしたため、その後の人類の歴史がかなり大幅に修正されたとかされなかったとか。。。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2639ba/>

アダムとイヴの未来

2012年1月6日19時46分発行